

# 東南アジアの自然と農業研究会

## 第91回研究例会ご案内

第91回研究会例会を開催致します。今回は、京都大学東南アジア研究センターの長津一史氏に下記のようにご報告していただきます。皆様の多数のご参会と活発な討論を心から期待してお待ちしております。

### 記

日 時 : 1999年9月24日(金) 16:00~18:00  
会 場 : 東南アジア研究センター 東棟2階 第1教室  
(京都市左京区下阿達町46 川端通り荒神橋東詰め)  
話題提供者 : 長津一史氏  
話 題 : 「国境をめぐる漁民と仲買 - マレーシア・サバ州海サマ集落  
における漁業様式の変遷と国家 - 」

### ~ 要旨 ~

本発表ではマレーシア・サバ州東南部センポルナ域の海サマ人を対象として、かれらの漁業様式の変化を取り上げる。サバ州のマレーシアとしての独立(1963年)およびフィリピン南部での内戦によるサバ州への「難民」流入(1970年代)以降、フィリピンとの国境地帯であるセンポルナ域の海サマ人のあいだには、国籍を取得しマレーシア国民になり得た海サマ人と、国籍を取得できなかったため「外国人」になった海サマ人という社会経済的カテゴリー分化が生じた。このカテゴリー分化は漁業様式にも反映された。「国民」海サマが資本提供者かつ仲買となり、「外国人」海サマがその網子となるような操業形態ができあがったのである。

発表では、上記のような政治的枠組みや、市場・流通といった経済的背景を歴史的にトレースしつつ、その関係において海サマ人がいかに漁業様式を展開させていったのか漁民・仲買関係の変容に焦点をおいて論じてみたい。

問い合わせ先 :

京都大学農学部地域環境科学専攻(旧熱帯農学専攻) 松田正彦

Tel.075-753-6374 E-mail matsuda@kais.kyoto-u.ac.jp

京都大学東南アジア研究センター 田中耕司

Tel.075-753-7307 E-mail kjtanaka@cseas.kyoto-u.ac.jp